

横浜冬の散歩

2022年1月 島田祥生

三溪園

三溪園は、明治時代末から大正時代にかけて製糸・生糸貿易で財を成した横浜の実業家・原三溪（本名富太郎）が、東京湾に面した“三之谷”と呼ばれる谷あいを作り上げた日本庭園。

三溪は、芸術家や文学者などの文化人と広く交流した。

桜木町からバスで三溪園前下車園に入ってすぐ左手の景色。舟の上で、沢山の鴨が日向ぼっこ係の人が「カワセミがいますよ」と声をかけてくれた。



蓮池で獲物を狙う

カワセミ

このあと、見事にザリガニをゲットし木の枝の上で平らげた

一つ飛びして、大池の縁で次の獲物を狙っている。



名物の「三溪そば」

汁がなく、具を麺に絡めて食べる。大池の左奥の待春軒で。

内苑の景色。

“Oh! This is Japan!”と言わしめた佇まい。

歴史的な建物が移築されている。

右の建物は、紀州藩初代藩主の頼宣が和歌山・紀ノ川沿いに建てた数寄屋風書院造の「臨春閣」



カワセミの「追っかけ」3人

三脚を担いで「アッ、飛んだ。あっちだ！」と、童心に帰ったように楽しそう。



港の見える丘公園

東京湾が一望できるスケールは圧巻。目を凝らすまでもなく、東京スカイツリーも見える。バスも通っているが、頑張れば、麓の駅から歩いてくるのも楽しい。

手前に氷川丸の煙突、その先に大栈橋、そしてMM21が。



本牧埠頭の
ガントリー
クレーン群



東京スカイツリー
☞
☞ベイブリッジ

冬枯れのバラ園。手入れが行き届いていて、花時が楽しみ。

この山手地区は、文久3年(1863；明治元年は1868)に居留地防衛のための軍隊が駐留するなど、イギリスにゆかりの深い土地。外人墓地はこの近くにある。



ベイブリッジ



緑の中の大佛次郎記念館。

「文士は必ずカメラを持って」を4月中旬まで開催中。

横浜市イギリス館や近代文学館などの文化施設が隣接している。

ブリキのおもちゃ博物館（山手地区）

港の見える丘公園から外人墓地のちょっと先を左に曲がると、瀟洒な建物が現れる。「多くの人にコレクションを見て楽しんでもらいたい」と、1986年4月に開館した。館長の北原照久氏は、「開運！なんでも鑑定団」の鑑定士も務める。

入館料200円で中に入ると、展示室には、ブリキのおもちゃがびっしり。こんなものまで作ったの！と驚きの連続。最盛期にはグロス（ダースの12倍）単位で米国からの注文が続いたとのこと。薄板の手作りによるプレス金型の製作技術は、残念ながら3年前に途絶えたそう。



氷川丸

大栈橋

山下公園

インターコンチネンタルホテル

マリントワー

アメリカの名車「サンダーバード」
恋焦がれて、ようやく手にした時の喜びが伝わってくる



棚いっぱいのブリキのおもちゃ。人形あり、自動車あり、飛行機あり、いやいや、なんでもありの感じ。右の飛行機は、PANAM。びっくりするほど大きい。



アメ車が並んでいる
輸出用に多種大量に作られた。
館長さんの思いが伝わるレイアウト。

山下公園

この公園は、1923年に起きた関東大震災の復興事業として、1930年に当時残った瓦礫を使い、5年ほどの歳月をかけて海を埋め立て完成した。

1989年に横浜港130周年記念として開催された「横浜博覧会」に合わせて駐車場や大きな広場などを作り、現在の姿に。今でも、一部の場所では当時の面影が変わらず残っている。



ベイブリッジは、どこから見てもいい。広場では学生さんたちが楽しそう。



枝垂桜が3本。花時は見事だろう。左はバラ園。



マリントワーと名門のニューグランドホテル



山下埠頭からは、みなとみらい21が一望に。手前は、ブラジル移民で活躍した商船三井の氷川丸



観光船が出入りする。赤レンガ倉庫もよく見える。



中央の大栈橋埠頭ビルはクルーズ船の発着場所。存在感がある。右後方に大栈橋。

みなとみらい 21

今回、この地区はごく一部の散歩で終わりました。広すぎます。

みなとみらい地区は、横浜都心部の一体化と強化をめざしたウォーターフロント都市再開発として建設されている街。

1980年代に再開発が行われる以前は、三菱重工業横浜造船所、国鉄高島線（貨物支線）の東横浜駅および高島駅・高島ヤード（操車場）、高島埠頭、新港埠頭などがあつた。



ランドマークタワーのそばにある、1930年に進水した文部省の航海練習帆船の帆船日本丸。彼女が浮かぶ展示ドックとともに、国の重要文化財になっている。

後ろには、クイーンズスクエア、帆をイメージしたインターコンチネンタルホテル、コスモクロック（大観覧車）などが並ぶ。

自動車道は、1911年（明治44年）開通の旧横浜駅と新港埠頭を結ぶ臨港線（通称「税関線」とも）の廃線跡を利用し、その一部にあたる約500mの区間をレールも残した上で緑地として整備した。桜木町駅から赤レンガ倉庫などへのアクセスロードになっていて、人の流れが絶えない。



自動車道に沿って、日本の都市型ロープウェイ AIR CABIN が、桜木町駅前と運河パークを結んでいる。桜並木も立派になってきた。



自動車道の鉄橋から、運河パークにある、World Porters が正面に見える。この道は、格好の散歩道。浜風と日差しが快い。